

(別紙5)

補助事業番号 27-1-082  
補助事業名 平成27年度 検診車の整備 補助事業  
補助事業者名 一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

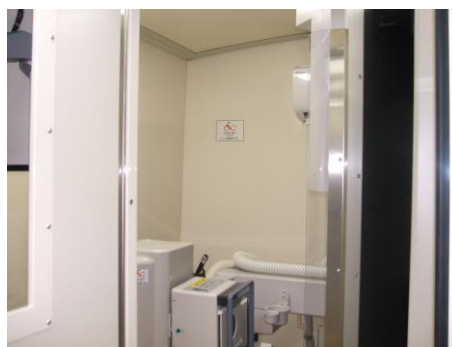
胃・胸部併用デジタル検診車を導入整備し、胃がん、肺がん及び呼吸器疾患等の早期発見、早期予防治療を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

胃・胸部併用デジタル検診車 <http://www.rfk.or.jp/pdf/H27keirin.pdf>



胃・胸部併用デジタル検診車  
左斜め前前景



胃部撮影室内

## 2 予想される事業実施効果

胃・胸部併用デジタル検診車の導入により、効率的な検診の実施、駐車スペースの確保が容易、精度管理の向上が見込まれます。また効率的な検診の実施により、受診者数の増加を図り検診希望、要望に対処し、精度管理の向上により県民の公衆衛生の増進に寄与する。

### 3 印刷物等

#### 本事業に係る印刷物等 協会広報紙

 <p>発行日 平成28年4月21日 第49号 編集・発行人 (一財)神奈川県労働衛生福祉協会 編集委員会 〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9</p>	<p><b>第12回労働衛生フォーラムを開催しました</b></p> <p>労働衛生フォーラムも第12回を数え、2月25日(木)に横浜野原口の新編野木会館として盛大に開催されました。当日は、健康保険組合や事業所種など77団体、87名と多くの方に参加いただきました。</p> <p>赤城拓彦先生による「健診機関の意義と役割 (PART II)」と題した疾病予防と早期発見の重要性についての講演に続き、労働衛生コンサルタント事務所「Y・カノン」の代表である矢崎雅純先生より「ストレスチェック制度の適切な運用」についてご説明いただきました。健診結果を再度確認できる内容と、事業所に定められた(労働者が50名以上の全事業場)ストレスチェック制度を解り易く解説していただき、とても有益な講演でした。</p> <p>その後の情報交流会では、お客様と協会職員だけでなく健康保険組合関係士あるいは事業所関係士の交流もあり、楽しいひとときをお過ごしいただいたことと思います。</p> <p>このところ労働安全衛生法が目まぐるしく変わっており、学校保健安全法も変わりました。タイムリーな情報を今後も発信していくとともに、多くの方の交流の場としてご利用いただけるよう労働衛生フォーラムを開催してまいります。今後ともよろしくお願いたします。</p> 
<p><b>新年度事業スタートにあたって</b></p> <p><b>事業運営の基本方針</b></p> <p>一般財団法人として、4年目の事業となる平成28年度の事業計画は、公益目的事業、法人事業、一般事業の3部門で構成します。</p> <p>公益目的事業としては、健康相談事業、環境測定事業、浄化槽検査事業、啓発広報事業を実施していくこととなりますが、今年度は、「乳がん検診マンモグラフィ受検の受けられる日曜日(J.M.S)」や「ほだがや区民まつり」への引き続きの参加を進めます。</p> <p>法人事業は、一般財団法人全体の事業運営を円滑に推進させるため評議員会及び理事会を機能し、報告を受け事業推進の方策を進めることが重要な取り組みとなります。また、協会設立50周年達成記念事業として、「職員健康管理事業」と「文化事業」を実施します。</p> <p>一般事業は従来から進めてきた一般健康診断、特殊健康診断、生活習慣病予防健診、人間ドックなどの事業を推進する取り組みを行うこととなります。上記3部門事業を推進させるための基本方針に基づき取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康指導、作業環境測定、浄化槽検査、広報啓発など公益目的事業を円滑に進め公益目的支出計画の安定的な実施をすすめます。</li> <li>2. 評議員会や理事会を定期的に開催し一般財団法人の事業計画や財政支出が適切に実施されているか管理します。</li> <li>3. 健康診断事業の充実・拡大を図り、顧客サービスの向上に努めます。定期健康診断、特殊健康診断、生活習慣病健診、特定健診・特定保健指導など受診者のニーズにあった健診を推進します。</li> <li>4. メンタルヘルス支援事業の取り組みと創設工夫をこらした健診を実施します。</li> <li>5. 労働衛生サービス機能評価の取り組みを常に意識し、更なる精度管理の向上を図ります。</li> <li>6. 個人情報保護管理体制の強化を図るため、プライバシーマークの取得に取り組みます。</li> <li>7. 啓発広報事業を積極的に取り組み、「事業年報」「健康情報紙かな健」「協会広報紙」「健康診断ガイドライン」の充実を図り、顧客サービスに役立つ広報及び資料に発展させます。</li> <li>8. 「労働衛生フォーラム」を開催し、フォーラムの質的・内容的充実と協会事業内容の普及強化に努めます。</li> <li>9. 余剰資金を活用する機会に積極的に参加し、あわせて内部・外部教育などを実施し、従業員教育を充実・強化する取り組みを進めます。</li> <li>10. 経営の安定化と業務効率の向上を図るため、事業の効率化、運営体制の整備及びシステム構築の最適化、IT部門の効率的な運用を進めます。</li> </ol> 	<p><b>天王町診療所長就任のお知らせ</b></p> <p><b>総合健診センター診療所・所長就任にあたって</b></p> <p>此度、新しく天王町の総合健診センター診療所の所長を拝命しました赤城拓彦です。医師として本協会に勤務して「がんの早期発見と特定健診・特定保健指導による疾病の予防だけでなく、喫煙による慢性閉塞性肺疾患(COPD)をはじめ他の多くの疾病の予防にも目を配って、結果として健診受診者の健康寿命の延伸に寄与できれば、これほど素晴らしいことはない」と思うようになりました。</p> <p>今年度から、メンタルヘルス支援事業も始まりました。職員の皆様には、それぞれの役割を果たされたら「健診受診者には親切・丁寧に」「職員同士は和気あいあい協力して」を合言葉に、ともに元気にやっつけたいと思っています。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>  <p>【診療所長 赤城拓彦(あかぎ くにひこ)】</p>
<p><b>顕輪補助事業による 胃・胸部併用デジタル検診車が納車されました</b></p>  <p>この度平成27年度の顕輪の補助事業(22,050,000円)を受け、平成28年3月31日に胃・胸部併用デジタル検診車(新5号車)が納車されました。</p> <p>デジタル化の最新機器の設置により撮影後、瞬時に画像が確認でき撮影効果が高くなること、さらに精度及び処理能力が大幅に向上したことにより、県内町村の住民検診や、事業所従業員等の健康診断において、患者の「早期発見、早期予防や治療」に役立つことで、国民の保健衛生の向上に多岐に寄与することが期待できます。</p> <p>今回顕輪補助事業完了にあたり、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。</p> <p>総務部長 徳山</p> 	<p><b>骨密度測定装置が新しくなりました</b></p> <p>大和診療所・巡回健診で使用している骨密度測定装置GEヘルスケア・ジャパン製Achilles A-1000 EXPに替え、新型のAchilles A-1000 EXP IIを納入致しました。</p> <p>測定時間は約10秒と、従来のA-1000 EXP IIに比べ検査時間を大幅に短縮することが可能です。また、モニターも従来のモノクロから見やすいフルカラーとなりました。</p> <p>この新装置を活用し、効率的な健診に努めてまいります。</p> 

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会  
(カナガワケンロウドウエイセイフクシキョウカイ)

住所： 〒240-0003  
神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9

代表者： 会長 西平 浩一 (ニシヒラ ヒロカズ)

担当部署： 総務・財務部 (ソウム・ザイムブ)

担当者名： 部長 徳山 昇 (トクヤマ ノボル)

電話番号： 045-335-6900

F A X： 045-335-7179

E-mail: [tokuyama@rfk.or.jp](mailto:tokuyama@rfk.or.jp)

U R L: <http://www.rfk.or.jp/>